

## 【事例 H29-75】徳島県

## 中学生等を対象にした「こころの授業」

【概要】牟岐町が、助産師及び地元の中学校と連携し、中学生及び教職員等を対象にした「こころの授業」を実施した。事前に、講師となる助産師及び実施中学校の養護教諭、牟岐町の保健師と協議し、各学年の実態把握（生徒の悩み等）を行った。分析結果から、各学年のニーズ（中1「いのちの大切さ」中2「性について（性の変化）」中3「生きること（性の問題）」）に合わせた授業内容を設定し、生徒の悩みに寄り添った授業を実施することで、心の負担の軽減を図った。

## 【大綱の分類】

2. 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
4. 自殺対策に係る人材の確保、養成および資質の向上を図る
5. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する
11. 子ども・若者の自殺対策を更に推進する

## 【政策パッケージ分類】

- 基本1. 地域におけるネットワークの強化  
 基本2-3) 学校教育・社会教育に関わる人への研修  
 基本5-1) SOSの出し方に関する教育の実施  
 基本5-2) SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化  
 重点1-2) 若者の抱えやすい課題に着目した学生・生徒等への支援の充実

【事業実施年度】2018年度事例（2018年度～2019年度）

【事業予算】 81,320円（2018年度）

## 【利 点】

- ▼町には中学校が1つなので、ほぼ全員の中学生に対しアプローチできる。
- ▼地域の助産師や保健師等、悩みを抱えたときに相談できる人がいることを知る機会となる。
- ▼生徒の悩みについて、他職種で分析し、生徒の実態を教職員間で共有することで安心感のある環境づくりを進めることができる。

## 【実施に至るまで】

**中学生・教諭等を対象にする理由**

- ①小学校では問題のなかったケースも、中学校になってから悩みを抱えるケースが増加
- ②思春期特有の悩み等を抱え不登校になる生徒が増加
- ③思春期特有の悩み等への対処法を知り、不安やストレスを軽減する機会が必要
- ④教職員等が生徒の悩み等を知ること、安心感のある環境づくりが必要

**計画を立てる上での工夫**

- ①養護教諭による聞き取りや相談、行動観察、生活アンケート等での生徒の実態把握
- ②助産師及び養護教諭、保健師間で、生徒たちの「性（生命）への理解不足」や「他者には言えない性の悩み」、「自己肯定感や自己有用感の低さ」といった実態（悩み等）を共有し、各学年のニーズに合わせた授業内容を設定
- ③自殺予防を前面に出す手法ではなく、「自分や相手を大事にすること」等を中心に授業を実施
- ④具体的な事例を挙げ、思春期の悩みに寄り添った内容になるよう計画を工夫

**具体的な内容**

▼生徒の実態把握

- ・助産師及び保健師、養護教諭等、他職種によるニーズの把握
- ・各学年における授業のテーマ設定と内容の検討

▼授業内容は1時限 50分

- ・助産師による講義
- ・中学1年生「いのちの大切さ」：「体や心の変化」の理解を深め、不安を軽減
- ・中学2年生「性について」：「性」の悩み等を軽減
- ・中学3年生「生きること」：「生きること」全般の悩みの対処方法

▼学校におけるフォローアップ

- ・気軽に悩みを相談できる環境づくり
- ・教科等における横断的な取組
- ・助産師等からのアドバイス

【成 果】

- ▼授業後の感想文から深く悩んでいる生徒を把握し相談等の支援につなげることができた。
- ▼教職員等が生徒の悩みを把握することで安心感のある環境づくりを進めることができた。
- ▼生徒の疑問や悩み等に対し、助産師が手紙で返答する等、顔の見える相談体制づくりができた。

|      | 生徒                           | 教員  | スタッフ |
|------|------------------------------|-----|------|
| 参加人数 | 53人<br>(中1)18人(中2)22人(中3)23人 | 10人 | 2人   |

【補 足】

- ▼経験豊富な助産師から具体的な事例を聴くことで、生徒の心の負担やストレスの軽減を図る

- ▼生徒が悩んだときに相談できるよう、学校以外の相談窓口を紹介



**困ったときは一人で悩まない！**

生きていくうえで悩みはつきもの、  
つまづいたり転んだりすることが何度もあると思います。  
でもね。  
人生は、死ぬこと以外はいつでも修正が利きます！  
いのちを大切に！  
冷たくなつたいのちは元には戻りません！  
とにかく一人で悩まないこと！何かあれば担任の先生や保健室の先生に話してみましょう。

助産師会の電話相談もあります。ホームページを見てください。

授業の様子

授業で利用した教材(一部抜粋)

【課 題】

- ・不登校等で休みがちな生徒に対して授業内容等を伝えるための工夫が必要
- ・授業後、学校だけではなく、他職種と連携しながら継続的に支援する体制づくりが必要

【参考資料・文献】 特になし

|             |                              |
|-------------|------------------------------|
| 【事業種別】      | こころの授業実施(中学生・教職員等対象)         |
| 【準備期間】      | 60日                          |
| 【人 数】       | 1人                           |
| 【人口規模】      | 4,247人                       |
| 【財政規模】      | 2,057,283,000円               |
| 【自治体負担率】    | 33.3%                        |
| 【事業対象】      | 中学生(全学年)及び教職員等               |
| 【支援対象】      | 中学生                          |
| 【委託の有無】     | 無し                           |
| 【実施主体・問合せ先】 | 牟岐町役場 健康生活課 TEL:0884(72)3417 |

Mail:mugikenkou@mugi.i-tokushima.jp